

令和7年度新入生必携ノートパソコン基本仕様案について

情報基盤センター

現在、授業等でご活用いただいている教育用端末は、仮想化基盤(アイアシスタント, WebClass 等を提供)、認証基盤、科学技術計算用アプリケーションなどを含む教育・研究用コンピュータ・システムの一部として調達されてきました。しかし、近年の外国為替相場、ソフトウェアライセンス料の価格改定、人件費の高騰などの影響により、調達費用が大幅に増加することが見込まれており、本学の財政状況が厳しい状況下において、現在と同様の教育用端末を維持することは非常に困難な状況となっています。

教育用端末の台数・構成等については、仮想化基盤、科学技術計算用アプリケーションの構成と共に、これまでに教務委員会で皆様から頂いたご意見を参考に今後検討を進めてまいります。現時点では、以下を主な目的とした最低限の台数のみを維持し、他の教育用端末を使用されている授業につきましては必携ノートパソコンで実施いただくことを想定し、令和7年度新入生の必携ノートパソコン基本仕様を提案いたします。

- 芸術系ソフト・CAD など描画性能やディスプレイサイズが必要なソフトウェアを使用する授業
- CBT(Computer Based Testing)

なお、現在の教育・研究用コンピュータ・システムのリース期間は令和8年8月31日までとなっていますが、リース期間を1年間延長し、令和9年8月31日まで現在の教育用端末をお使いいただける計画となっています。

学部・コースで指定される各スペック(主に CPU, メモリ)につきましては、実施される授業に基づきご検討いただけますようお願いいたします。

今年度からの変更点

- OS を Windows に限定。
 - 授業での必携 PC 活用時の教員負担軽減のため。
Windows と macOS 両方に対応した講義資料作成等の負担
授業での必携 PC 対応の負担
 - 全学共通教育での活用も計画されているため、学部・コースごとの指定での macOS 受け入れもお控えください。
- CPU のシリーズ、世代を変更。
 - 推奨: Intel Core i5 第 12 世代 ➡ Intel Core i5 第 13 世代
 - 必須: Intel Core i5 第 10 世代 ➡ Intel Core i3 第 11 世代
 - ノート PC 用 Intel CPU 第 11 世代は 2020 年発売(搭載 PC は主に 2021~2022 年頃発売)
- ARM 系 CPU を除くことを明記。Apple Silicon(M1, M2 等)も ARM 系のため除外。
 - ARM 版 Windows は、Intel CPU 向けのアプリケーションの完全な互換性が保証されないため。
 - 情報基礎 A・B、数理データサイエンス・AI 教育で利用するソフトウェア(Python 等)を考慮。
- ストレージ容量を変更。
 - 推奨: 240GB 以上の SSD ➡ 480GB 程度以上の SSD
 - 必須: 240GB 以上の SSD または HDD ➡ 240GB 程度以上の SSD または HDD
 - 授業で使用するソフトウェアのインストールを考慮。
 - 指定の容量をギリギリ満たさないものも受けいけられるよう「以上」を「程度以上」とした。
- イヤホンジャックを必須とした。
 - 語学授業での多人数使用で Bluetooth イヤホンの接続不具合があったことを考慮。
 - 授業担当教員(非常勤含む)への周知が難しいと考え必須とした。
- 必須スペック設定基準に「授業で使用するソフトウェアを実行できる処理能力」を追加。

■令和7年度必携ノートパソコン基本仕様(案)

本学が推奨するノートパソコンの仕様は次のとおりですが、別途学部、学科で個別に推奨する仕様がありますので参照してください。

	推奨スペック	必須スペック (必要最低限として定める要件)
OS	Windows11 ※Windowsのエディションは Home, Pro のいずれでも構わない	
CPU	Intel Core i5 第13世代と同等以上の性能を有する CPU ※ AMD 製 CPU を含む ※ ARM 系 CPU を除く	Intel Core i3 第11世代と同等以上の性能を有する CPU ※ AMD 製 CPU を含む ※ ARM 系 CPU を除く
メモリ	16GB 以上	8GB 以上
記憶装置(ストレージ)	480GB 程度以上の SSD	240GB 程度以上の SSD または HDD 新規購入の場合は SSD が望ましい
無線 LAN	802.11ax(Wi-Fi6)に対応	802.11ac(Wi-Fi5)に対応 新規購入の場合は 802.11ax(Wi-Fi6) 対応が望ましい
バッテリー駆動時間	カタログスペックで 7.5 時間以上	
ディスプレイ	12 インチ以上	
入力装置	物理キーボードを有すること(脱着式・分離型でも可)	
外部インターフェース	● USB2.0 以上が利用できること ● マイクが利用できること ● イヤホンジャックを有すること(USB からの変換等でも構わない) ● ウェブカメラ(USB 接続したものでも可)	
その他	● 持ち運びすることとなるため、軽量・薄型のものを推奨する。 ● MS Office については、大学で契約している Microsoft 365 Apps for enterprise が利用できる。 ● セキュリティソフトについては、学内ネットワークに接続する PC には、大学で契約しているもの(Trend Micro Apex One)が利用できる。	

※この仕様を満たしたパソコンを推奨モデルとして岩手大学生協でも販売しています。

↑岩手大学生協に確認が必要

＜必須スペック設定基準＞

- インターネットを介した教材資料・動画の視聴、Web テレビ会議システムによるリアルタイム授業の受講ができるネットワーク機能、音声・映像入出力機能、処理能力。
- Office 製品を用いたレポート・プレゼンテーション資料等の作成、データ処理ができる記憶装置(ストレージ)容量と処理能力。
- 授業で使用するソフトウェアを実行できる処理能力。
- 3 限分の授業が受講できるバッテリー駆動時間。
- 初歩的なプログラミングが実施できる入力機能と処理能力。

令和 6 年 10 月 30 日

情報基盤センター

議題 2「令和7年度新入生必携ノートパソコン基本仕様案について」補足

令和 6 年 10 月 11 日の情報基盤委員会 議題 2「令和7年度新入生必携ノートパソコン基本仕様案について」で提案いたしました必携ノートパソコン(以下、必携 PC)の基本仕様について、委員の皆様からいただいたご意見に基づき以下のとおり補足いたします。

本提案(基本仕様)へのご意見および学部・コース等での仕様の指定につきましては、令和 6 年 12 月 2 日(月)17:00までに、全学情報基盤委員を通して、情報基盤センター(isic@iwate-u.ac.jp)までお送りいただけますようお願いいたします。

本提案の経緯

議題 1「次期教育研究用システムの構成方針について」(再提案)の通り、次期教育研究用コンピュータシステム(以下、次期システム)を現行システムと同様な構成で調達することが非常に難しい状況の中、教育用端末およびアプリケーションを授業の実施に必要な最小限の規模に縮小し、教育関連サーバ、認証基盤、各種ネットワークサービスを構成する仮想化基盤を構成する仮想化基盤を現行システムと同規模で構成する次期システムの構成方針を提案いたしました。

現行システムリース期間の令和 9 年 8 月 31 日まで 1 年間延長が認められ、教育用端末を含む次期システムの構成方針については、令和 7 年 8 月頃までご検討いただけますが、必携 PC の基本仕様については、入学準備のため令和 6 年 12 月には新入生に示す必要があり、次期システムの構成方針案に基づき、基本仕様案を作成・提案いたしました。

基本仕様と学部・コース等での仕様の指定について

必携 PC は、情報基礎 A・B、数理データサイエンス・AI 教育だけでなく、今後は、語学など全学共通教育でも活用いただけるものと考えており、これらの授業を担当される先生方の負担を軽減するとともに、学生が円滑に授業を受けられるようにすることを目的にこれまで提示してまいりました。

学部・コース等での仕様の指定につきましては、基本仕様より高い機能・性能が必要な場合にご指定いただくものとして、ご検討いただけますようお願いいたします。

OS の Windows 限定について

今年度新入生まで、masOS も受け入れる形で基本仕様を示してまいりましたが、今後、教育用端末で実施されている授業の大半を必携 PC で実施していただくなど、より多くの授業で必携 PC をお使いいただくことになる可能性を考慮し、授業・資料の準備や授業の実施など授業担当教員の負担を軽減するとともに、学生が円滑に授業を受けられるよう、情報を専門とされない多くの先生方および多くの学生が日常的に使用し、現在の教育用端末で多く使用されている Windows に OS を限定する提案といたしました。

ARM 系 CPU の除外について

ARM 版の Windows では、Intel CPU 向けのアプリケーションの完全な互換性が保証されていないことから、授業の実施時のトラブル発生を抑制するため、ARM 系の CPU を除外する提案といたしました。

ストレージの必須スペック(240GB 程度以上)について

ストレージの必須スペックの提案が「240GB 程度以上」としている点について、学生の負担を懸念されるご意見をいただきましたが、こちらは昨年度「240GB 以上」としていたものを「程度以上」と緩和したものとなっております。授業において必携 PC にアプリケーションをインストールすることも考慮し、要求するストレージ容量を今年度新入生より小さくすることは難しいと考え必須スペックでは「240GB 程度以上」の提案といたしました。

イヤホンジャックについて

昨年、必携 PC を使用される語学の授業で Bluetooth のイヤホンが使用できないトラブルが発生しているとの報告・相談を学務課から頂き、今年度は授業担当教員への「授業の中での接続確認の実施」と「必要にあわせた USB からイヤホンジャックへの変換機器および有線イヤホンの準備指示」をお願いする形でご対応いただいていたのですが、外国人非常勤講師の先生方にこれを徹底していただくことが難しい状況を考慮し、イヤホンジャックが装備されていないノート PC を所有している学生も円滑に授業を受けられるよう、USB からの変換等を含む形でイヤホンジャックを要求する仕様案といたしました。なお、有線イヤホンにつきましては、大学生協やコンビニエンスストアなど大学近隣で容易に調達できることから、必携 PC の基本仕様では要求しておりません。